



UCHINADA

gikai@town.uchinada.ishikawa.jp
http://www.town.uchinada.ishikawa.jp

春を待つ犬もたのしい広場かな
(新しくスタートした保健センター前の“犬ふれあい広場”)

うちなだ 議会だより

激論 議員定数18人決まる 2

政務調査費を1万円減額 6

赤字バス路線に補助 定例会審議 8

児童虐待防止協議会開催日増やせ
13年度決算 11

いっぱん質問 すべての質問項目を掲載 12

Vol.72

平成15年〔2003〕
1月17日発行

〒920-0292
076-286-6715
石川県河北郡内灘町大学1丁目2-1
発行：内灘町議会
責任者：議長 田中祥次
編集：議会広報対策特別委員会

12月 定例議会

9日～17日

議会最終日、「議員定数を16人に削減する議案」と「18人の現状維持の議案」がそれぞれの議員から提出され、6人が討論の末、「現状の18人案」が10対7の賛成多数で決まりました。

定数16人の条例案

提案理由

中村哲彦議員

本案は、現条例による定数18名を減数し16名とするものである。

まず、定数を削減することについては、地方分権一括法の制定以来、地方分権型社会の構築に向け取り組みが進展している中、我が内灘町にあっては地方分権時代に生き残る自治体の行財政基盤を確固たるものにするべくあらゆる分野での検討が進められている。

我が内灘町も平成9年3月に内灘町行政改革大綱を策定し、取り組んでいるところである。

具体的には、各種補助金の見直しや経常経費の削減、合理化策等々であり、当然、議会としても、みずからこの目標に向けて協力、努力をすべきであり、議員定数については18名から16名に削減をする機会だ。

平成11年7月に制定された地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律により、地方自治法第91条が改正され、平成15年1月1日から施行される。これに伴い、議員定数条例の制定が必要となるため、地方自治法第112条及び内灘町議会会議規則第14条の規定により、提出する。

提出者は、私、中村哲彦。賛成者は中居治君、同じく賛成者は中川達君。

理由は、国、県、市町村として議員定数の見直しが全国で論議され、県内でも既に多くの市町村が削減をし、削減に向けて検討している。

私は、議員間あるいは町民の中から、今の議員の定数でいいのか、現状はどうかという問いかけがあ

削減・16人に賛成

の中で、先般来の議会運営委員会並びに全員協議会等々で論議を尽くし、もちろん区長町会長の皆さんはじめ、町民の多くの人たちの意見にも耳を傾け、現代の趨勢である、あるいは財源の問題などいろいろ考え合わせるときに、減員もそれなりに大きな意味があるのではないかという意見もある。

ここで、提案者の一人として、私見も交えて言えば、内灘町の規模あるいは今後の財政面、そして町民の皆様の声等々勘案したとき、将来にわたる内灘町の発展を進めるために、議会人みずから真摯な姿勢で議会改革に取り組まなければならない。

自己責任、自己判断はもちろんのこと、これまで議会全員が町勢の発展と町民の福祉向上にがんばってきた。

しかしながら、昨今の我が国を取り巻く経済情勢は綿々とその厳しさを増しており、民間企業におけるリストラや、銀行をはじめとする金融機関の破綻など、これまで類を見ないほどにさまざまな時代の変革。このような中で、国をはじめ我が地方においても何らかの改革を進めていくのは、今や時代の趨勢と言っても過言ではない。

もとより、議員定数18名がそのまま行われればよいのだろうか。あえて断腸の思いで、議員定数の削減という大きな改革に取り組むことを決意をした。

これは、私たち自身が何よりも内灘町を愛するという郷土愛のもとに熟慮したものであり、どうか議員の皆様の賢明な判断をいただき、提案にご同意いただくと心から念じて、私の提案説明にかえる。

中居 治議員

河北郡内の町では、既に定数削減が実現されている。津幡町では9月議会ですでに20議席から18議席に削減を議決した。

議員定数削減を実行することにより、意見の凝縮とともに的確な行政活動につながっていくのではないかと確信をしている。

多くの町民の方々と議会が一体となって決断されれば、最良の結果が出ると私は思っている。

中川 達議員

議会の意思決定としての権利、機能は、議員の数が減ったからといって本来あるべき議会の機能を麻痺させ低下させるものではない。

議会、行政がお互いに痛みを分かち合い、しっかりとした信念、希望の中で今後の町政を引っ張っていくという努力が大事だ。

我々議員には地域のリーダーとしての自己研鑽を重ねることが強く求められている。議会が率先して議員定数を削減し、襟を正し、町民の信頼を得るよう行動するべき時期だ。

現状が削減が 激論 今のままの 18人に決定

定数18人の条例案

提案理由
南 守雄議員

議会議員の定数は、議会制民主主義のあり方によって大変重要な問題であり、議会は住民を代表して政策立案機能を重視していくのか、または議決機関だけとしての機能のみにとどまるのか、それによって議会の役割はおのずか違ってくると思う。

地方自治法の改正では上限を26と定めているのであり、現状の18名でも約31%の減員率になるものである。現状の議会を考えても、単に定数を減らせばよいということにはなり得ず、したがって現在の議会の定数は現状の18名でよい。

現状・18人に賛成



定数問題について11月11日区長町会長会との懇談

清水文雄議員

議員定数問題は、周りの町が定数を削減したからとか、だから我が町も削減をしなければならぬとか、来年の選挙を意識して定数削減を言つとか、そういう単純な問題ではない。あくまで自治体として議会、そしてこれからの内灘町をどうしていくのかという極めて重大な問題だ。

議員の政治倫理条例を制定し、議会の活性化、議員の質の向上を図ることが、定数削減より重要。

議員は本来の議員活動を徹底して、政策提案にも大いに参加し、同時に議決機関として、あるいはチェック機関としてその役割を十分に果たしていかなければならない。こうした「議会改革」をも追求し、経費の削減に努める必要がある。

水口裕子議員

現在の経済状況の厳しさは身にしみているが、経費削減の理由によって議員を減らすことには反対。

議員が研鑽を積み、監視機能を高め、適正な働きで税金のむだ遣いをなくしていける。

議員の数を減らせば女性が増えますが、議会の質が低下する。有権者の半分が女性でありながら、この12年間、町に女性議員はただ1人。女性をはじめ障害のある方など、社会的に弱い立場の人たちの意見が反映される議会であるためにも、現在の定数を守りたい。

大切なのは議員の倫理を確立し、負託にこたえられるように議員として高めていくことだと思ひ、現在、倫理条例制定の準備をもとに進めている。

渡辺 旺議員

議員が多いのはよくないのではなく、もっと住民の側に立った活動をすべきなのであり、住民の意見をより多く聞き、それを行政に反映させる。それには住民代表としての地方議会の機能を重視し、多くの住民意思を反映するべく機能を全うするために議員が多いほどよい。

堂下清孝議員

現時点では住民代表機能が大切であると思ひ、議員定数は現状維持の方が最良と思う。

経費削減と言つたらば、まず議会費の中で、各常任委員会や特別委員会に支給されている運営費や、議長交際費、需用費は、もう少し減らすことができないか。行政視察費も政務調査費で賄つことも可能。景気が上向くまで各種イベントや部長制度、町長交際費などの見直しも必要ではないか。

県内外の行政視察費をなくし、政務調査費を活用し、大いに研修、研鑽に励み、住民の負託にこたえられる議員、議会を目指すべき。



私は 判断しました

議員定数16人案に賛成

高本 武雄
中川 達
古村 生亥
中村 哲彦
黒田 泰三
中居 治
米田 満

議員定数18人案に賛成

清水 文雄
水口 裕子
渡辺 旺
野村 輝久
八田外茂男
中村 鉄司
南 守雄
前崎 隆夫
堂下 清孝
重原 義之

付記 田中祥次は、議長の
ため採決に加わらず

定数問題に関する主な経過

平成12年

・地方自治法の改正によつて、本町の人口規模では議員定数は上限が30人から26人に変わり、平成15年1月1日から施行されることになった。

そのため、町独自の議員定数条例を平成14年中に制定しなければならぬことになった。

そこで、議会としては次のように検討を重ねてきた。

平成13年

11月16日

・今後、議会運営委員会で検討してほしい旨の発言が議長からあった。

11月22日

・議員全員協議会で今後は議会運営委員会で検討していく旨を報告し了承された。

平成14年

2月4日 27日

・議会運営委員会で検討。

5月10日

・議会運営委員会で、6月7日に議会運営委員会に各常任委員会副委員長を加えて検討することを決定した。

5月28日

・区長町会長から「内灘町議会議員の削減について」の要望書が提出された。

6月7日

・議会運営委員会に各常任委員会副委員長を加えて検討が開かれた。

・区長町会長から要望書が提出されたため、全員協議会で改めて検討することとした。

6月12日

・議員全員協議会で検討。

7月22日

・議員全員協議会で検討。

8月19日

・議員全員協議会で検討を重ねてきた結果、年齢別の3班に分かれ懇話会を設置し議論を深めることとした。

9月 12月

・それぞれ3班が懇話会を開催し検討。

11月11日

・区長町会長と議会との懇談会開催。

3班に分かれそれぞれが懇話会を開催し検討している旨を報告。

12月3日

・各区長町会長の名前で「内灘町議会議員の削減について」の請願書が提出された。

12月17日

・定例会に議員提出議案として「16人」と「18人」の2条例案を上げし、「18人」を可決した。

その結果、「削減を求める請願書」は議会で議決する必要がなくなった。

なぜ請願は採決しなかったか

12月3日、内灘町議会議員の定数削減についての請願書が、銭丸金弘大根布区長ほか、各区長、町内会長15名の連名で議会に提出され、議会運営委員会に付託しましたが、議員提出の議会議案を先に採決し、結論が出たため採決の必要がなくなりました。



『内灘町議会議員憲章』

全会一致で決議

提案理由 堂下清孝議員

内灘町には町民憲章があり、農業委員会には農業委員憲章が制定されている。

昨今、地方議会議員のモラルが問われており、資質の向上がより一層求められていることから、我ら内灘町議会議員も議員の本旨にのっとり、町民の負託に真摯に対応すべく、ここに議員憲章を制定し自ら活性化を図る。

『内灘町議会議員憲章』

議員は町づくりの先導役であり、住民の意見を代表し、住民自治の先導者であれ。

地方議会が変わることにより、日本が変わるだろう。

我ら、内灘町議会議員は

- 一、初心を忘れないようにしよう
- 一、日本国憲法及び地方自治法を学ぼう
- 一、議員必携の理解を深めよう
- 一、町例規集に親しもう
- 一、質問、質疑、討論をしよう
- 一、常に研修、研鑽に努め質を高めよう
- 一、言いたい事を、言にくい場所で、言にくい人にもいおう

減額し2万円に

給与カットあるいは区長町会長会からの要望などが提出される中で、議員も住民ともどもその痛みを共有し、町民の議会への信頼を高めることも必要と考える。

政務調査費で全議員がその目的の達成に向け自己研鑽を重ねているが、現在の政務調査費を1万円減額し、月額2万円とする条例改正を提案する。

反対だ

中川 達 古村 生亥 中村 哲彦
黒田 泰三 中居 治 堂下 清孝

反対討論 黒田泰三議員

政務調査費は昨年の10月、全員一致で決まった。ところが、今提案された3万円のうち1万円減額は、この中身は定額ということでガソリン代8千円、電話賃5千円。実際は何もしなくても1万3千円という金額を各議員がもらっているのが事実。そういった観点から、今どきなせこつという議案が出てきたのか、私個人疑惑に思っている。どうせ出すのなら、私は反対討論として3万円全額廃止を訴えて、反対する。

反対討論 中川 達議員

当政務調査費は、昨年10月に議員全員の総意をもって、町勢の発展に資する考えて議員全員が賛成した。

今後、政務調査費を必要最低限度の経費として、しっかりと携わりたいという議員も出てくる社会環境の中、皆様がしっかりと認識をした3万円が今後とも有効に生かされるよう、また私たちも有効に使っていく気持ちの中で、今回、1万円だけ削減というのは到底納得できるものではない。

昨年10月であり内容の効果もあらわれていない中、もう一度議員が認識をし、昨年10月に提案した者として反対する。



志賀町のRDF専焼炉を視察

政務調査費を1万円

政務調査費の減額を提案

南 守雄議員

地方分権時代を迎える中、議員の任務と役割が重要性を増してきている。地方自治法第100条の改正により、昨年10月から政務調査費各会派1人当り月額3万円を支給することを決め、議員としての政策立案能力など、その質の向上に努めてきた。

しかし、最近の諸情勢や厳しい経済状況の中、職員の

賛成だ

清水 文雄 水口 裕子 高本 武雄 渡辺 旺
野村 輝久 八田外茂男 中村 銑司 南 守雄
前崎 隆夫 米田 満 重原 義之

賛成討論 八田外茂男議員

政務調査費は、昨年10月から交付を受けて、内灘町議会としてその趣旨の通り、より以上の研鑽をすべく政策などに参画し、能力の向上に努めてきた。

しかし、この厳しい経済状況が続いている今日、いましばらく住民の皆様と苦しみを分かち合い、そして明るい経済情勢がひらけるまで議会政務調査費を減として、現状での議会活動、自己研鑽を一層の精励、能力向上に努め、住民の負託にこたえるべきとの考えから、減額することに賛成する。

賛成討論 水口裕子議員

議員としての資質を高めるための資料購入や学習会の参加、議会活動を住民の皆様にお伝えしたり、議員として本来の仕事をしていくのに現在の私には3万円でも足りない。

しかし、昨今の社会状況を考えると、もう一度私自身の議員活動のやり方を見直し、創意工夫することによって減額できるところもあるのではないか。そういった議会費削減、政務調査費削減の努力をしていくことが、今、町民の皆様様の民意に沿ったものと判断する。



河北クリーンセンターでRDF製造工程の説明を受ける

赤字バス路線に補助

職員の給料・手当を減額

総務・消防



補助を受ける内灘 - 宇ノ気線（室経由）

主な内容	
生活バス路線維持対策費補助金	346万円
自主防災資機材等整備補助金	100万円
交通安全電光掲示板設置	1000万円
消防テレホンサービス機器購入費	67万円

議会議員定数条例や政務調査費条例などの議員提出議案4件を可決しました。町長提出議案では、14年度一般会計は2千850万円の追加を賛成多数で認め、予算総額75億1千540万円とし、特別会計の補正予算、条例改正など18件を可決。町政一般質問では、6議員が登壇し、町長の考えをいただきました。

問 生活バス路線対策補助金は何か。

答 住民の生活路線を確保するために、バス事業者に対して赤字路線を維持する補助金である。

問 自主防災整備補助金はどこか。

答 14年春に設立された千鳥台自主防災組織の倉庫への補助金。

問 消防のテレホンサービス機器購入で何が変わるのか。

答 火災時の問い合わせ電話の回線が増え、地区の何丁目まで知らせることができる。

問 交通安全電光掲示板の設置場所はどこか。また、大きさは。

答 文化会館前を想定している。表示板の大きさは50cm x 2m 70cm。

問 一般職の賃金カットは平均でいくらになるのか。

答 町は1.9%の減額で、一人平均月額6千197円の減額になる。

問 町長の報酬は変わらないのか。町長は減額する考えはないか。

答 わたし個人としては減額の思いもあるが、特別職報酬等審議会を尊重したい。

問 議員の報酬及び手当では変わらないのか。

答 3月の期末手当は職員と同じく減額。来年度以降は、特別職報酬等審議会に諮問した。町長が答申を受ける。



犬ふれあい広場のオープンを持つ犬たち

衛生

カゼには予防が一番

問 タ陽ヶ丘苑などでインフルエンザ予防接種の本人同意、確認はどのように行われているか。

答 本人の意思が確認できない場合は、家族に了解を得て医師が確認し実施している。

問 犬ふれあい広場の利用料金と管理体制はどうするのか。

答 犬1頭、1回に千円。受付や施設管理は保健センターで行う。

主な内容

予防接種委託（追加）	450万円
健康診査等委託（追加）	278万円

福祉

乳児から高齢者まで助成費追加

主な内容

心身障害者医療助成（追加）	700万円
老齢者医療助成（追加）	257万円
乳幼児医療費助成（追加）	490万円

問 心身障害者医療助成金の増額の主な理由

答 当初646人見込んでいたが、年度末で676人増の30人が予想されるため。

問 福祉タクシー利用料金32万円の増額理由

答 一人暮らしの高齢者で自家用車を持たない方や障害者の方に利用

されているが、昨年からを迎え料金に加え、利用者が増えている。

問 当町のひとり親家庭の現状は。

答 増加傾向にあり、年間婚姻件数に対し約3分の1以上が離婚している。ひとり親家庭の助成制度など支援策への関心が高い。



福祉タクシーを利用する高齢者

教育

主要内容

要保護及び準要保護児童生徒援助費 167万円
給食センター修繕費 40万円

問 一部の中学生の非行を聞くが、対応策はどのようにしているか。

答 地区補導員、常勤補導員が巡回している。個別に家庭訪問を行うなど、教職員が一丸となって取り組んでいる。

問 給食センターの修繕費は、何を修理するのか。

答 フライヤー、焼物機の調理器具などを修理する。



修理する給食センターの自動てんぷら揚げ機



鶴5ショッピングセンター裏の廃止される道路

農業用ポンプを整備

問 農業用ポンプ整備1千100万円は、何に使うのか。

答 井戸のストレーナが詰まったので、横に新たな井戸を掘削し整備するためのもの。

問 室地区の下水道の整備計画はどのようになっていくか。

答 今年から設計に入り、一面整備は平成17年度に終える予定である。

問 雇用促進事業団から払下げを受ける内灘共同福祉会館(現鶴ヶ丘東公民館)の管理はどうなるのか。

答 3月中に1万1千円で払下げを受ける。4月からは公民館として再スタートする。

問 バザールの増改築に伴う町有地売却は止めて、公園駐車場を確保してはどうか。

答 検討する。

建設

主要内容

農業用ポンプ施設整備(ハマナス裏) 1,100万円
公園管理の賃金 100万円

平成13年度決算

児童虐待防止協議会の 開催日数を増やせ

決算特別委員会

平成13年度（13年4月1日～14年3月31日まで）における一般会計、6特別会計、水道事業会計の歳入歳出決算認定は、9月定例会で設置された決算特別委員会（8人）で5日間にわたり審議しました。

その結果、指摘事項と要望事項を今後の行財政運営に反映させることを付して、8会計歳出総額164億7,313万7,843円の決算すべてを認定しました。

町当局に指摘・要望した主な点

1. 児童虐待防止協議会の開催日数を増やせ。
2. 畑地かんがいの施設の老朽化が著しい。今後の畑地かんがいの全体計画を示せ。
3. 河北潟幹線道路の県道昇格を強く要望せよ。
4. 除雪業務、用地交渉業務に対する特殊勤務手当は、実態に合うよう改善せよ。
5. ホームページに移送サービスや新しいサービスをきちんと追加して載せよ。



高くつく補修費 早く県道に昇格を



ポケットベルだけでは情報不足の消防団員

6. 消防団員の連絡はポケットベルで行っているが、もっとよい手段を検討せよ。
7. 生態系の研究成果は行政として次のステップへ進め。
8. 交通事故撲滅の一環として、交通事故マップの内灘版を作成し、家庭に配布せよ。
9. 庁舎管理の経費について、建設時施工業者の委託にこだわらず、競争原理を取り入れ経費節減を図れ。
10. 職員、嘱託、パートの応募時に健康診断書の提出は多額の負担になる。不採用になった時点で補助をせよ。

いっぱん 質問



河北潟の浄化をはかれ

中川 達議員

中川達議員 河北潟の水質は年々悪化をしております水質汚濁し、ヘドロの堆積が約7メートル。水稲の農業用水基準と水質6項目のうち、pH、COD、そして全窒素の3項目が、基準値を大きく超えている。

ヘドロの除去は、潟の生態系の維持のためには避けて通れない。町民が一丸となって国及び県への要望など運動を起こせ。

事務当局で検討中

町長 水質浄化については、事務当局に今検討させている最中である。

中川 現在死活湖へと歩んでいくこの河北潟を、元の気水湖へと戻すべき。

町長 環境権というものをとらえた中で、大きなこれからの問題と考えている。

中川 町として雇用の場を増やせ。

産業建設部長 林帯整備などの業務以外にも取り組むことができないか検討する。

中学校の2校化を目指せ

中川 近年、学校教育も大きく様変わりし、中学校も現在県内で一番のマンモス校になっている。よい面も多くあるが、いろいろな弊害や問題も起きている。

町にあるハマナス分校は学校の敷地面積としては十分である。中学校2校下に向け県当局と移設に対して話し合いを持ってないか。

現時点では考えていないが……

教育長 現時点では2校化の考えはないのでご理解いただきたい。

町長 現時点では考えていないが、検討していきたい。



大清台西側にある県立児童生活指導センター（ハマナス分校）

中川 福祉センターは一般客向けか、高齢者施設が判断の迷うところ。

助役 高齢者施設として、5年間で基金1億円を積立て整備を図っていきたい。

中川 福祉センターの本格的宿泊施設が望まれ、また総合的な会議場も望む。

助役 高齢者の健康づくりを念頭に置いた非営利部門と分けて検討していきたい。

6人が登壇

災害は忘れたころに やってくる

野村輝久議員



野村輝久議員 向粟崎小学校のグラウンド西側と南側擁壁には多くの亀裂が走り、大きな地震がきて擁壁が崩落し、通学児童を直撃するようなことがあれば大きな惨事になるのではないか。

「災害は忘れたころにやってくる」という言葉の意味をいま一度かみしめ、危険箇所の総点検を実施し、速やかに改修を行い、宮城県沖地震が私たちに残してくれた貴重な教訓を大切にすべきだ。

新年度予算でみたい

町長 改修については新年度予算でみていきたい。

公用車はエコカーに

野村 町の象徴的な取り組みとして、町公用車としてエコカーを導入しては。たくさんある公用車が耐用年数を過ぎて買いかえの時期を迎えた時点で順次エコカーを採用し、環境問題に率先して取り組む内灘町の姿勢を示してはどうか。

環境問題への取り組みにおいてはその先進性を發揮して、町民の内灘町に対する誇りづくりに努めるべきではないか。

避けて通れない課題

町長 公用車18台については平成11年12月に一括管理を実施し、減車をしているが、これからエコカーの環境問題というのは、避けて通れない。



早急に改修が待たれる擁壁

あなたも議会を 傍聴しませんか？

次の議会定例会は3月です。
日程など詳しくは下記までお気軽にお問い合わせください。
内灘町議会事務局 286 - 6715

介護保険 これ以上高くするな

堂下清孝議員



鶴小に設置されている洋式トイレ

引き上げざるを得ない

堂下清孝議員 来年度は3年の1度の見直しが求められ、介護保険料の改定が行なわれる。65歳以上の保険料が内灘町は、2千800円だが、これ以上の負担に耐えられないという声を多く聞く。これ以上、高くすべきではない。

保険年金課長 介護給付費は大幅な増加傾向にある。13年度の実績は2千100万円、平成14年度、予算へ入で2千700万円を県の財政安定化基金から借り入れせざるを得ない状況が続いている。次年度以降の保険料は、借り入れの償還も含めて引き上げせざるを得ない現状。

16年度中に完成めさせ

堂下 室地区までの公共下水道の整備は15年度末までに全地区が整備される予定であった。それが、18年末となり、今回の補正予算で700万円計上され、17年度完成予定と聞く。町長は県内の公共下水道の部会長でもある。県内や全国的な促進も大切だが、地元中の地元の促進を一番先に図るのが町長の責務だ。16年度中に整備を終わらせるべきだ。

加入率に不安

町長 室地区の下水道の加入率は58%だ。加入率を上げてもらわないと、下水道の加入率に不安感がある。利用者がいないと、むだな投資につながる可能性がある。り、十分配慮いただきたい。

堂下 公共施設は、内灘公民館を除いて洋式トイレが設置されていない。
教育長 公民館は、平成16年までに全館の改修工事を完了する予定だ。
堂下 新石川県庁舎への公共の交通の確保が必要。北陸鉄道と交渉し便宜を図れ。
総務部長 住民のご要望・意見があれば、バス会社への申し入れを検討したい。

堂下 保育所と小中学校には早急に必要な数の洋式トイレの設置を。
教育長 各家庭では洋式トイレとなっているので、年次計画を立て改修していく。
堂下 町長、助役の答弁が大変聞き取りにくいという声をよく耳にする。
町長 努力はするが、なかなか難しい問題だ。

堂下 低所得者に対する保険料や利用料の減免も急務の課題だ。減免の考えは、保険年金課長 保険料は低所得者に軽減策を考えている。利用料は、従来どおり。

堂下 資格証明発行件数は、55世帯と他町に比べ多い。収納率目的なら中止すべき。保険年金課長 負担の公平を図る観点から現行どおり運用していきたい。

堂下 子供の医療費助成は、千円の負担金の撤廃を求め。
町民生活課長 医療費助成の千円の足切りについては、改める考えはない。

堂下 保育料の2人目の半額制度は、他の自治体のように高い方を半額にせよ。
町民生活課長 負担割合の均衡を保つ観点から、国基準と同様としている。

堂下 大清水地区の西側の道路はガタガタと走りにくい。設計、検査の不備では建設課長 築造後約27年が経過しており、一度専門家に調査させたい。



大京開発は実現 するのか

清水文雄議員

清水文雄議員 大京の開発計画が平成3年から現在まで延期されている。その間、整備された町道が通行止め、千鳥台5丁目アメリカ村は開発のメドが立っていない。計画の実現性とその対策、また計画変更による固定資産税の推移は、

大京は前向き

助役 大京は開発計画を前向きに考えている。開発が進むと雇用対策や町の活性化とその経済効果が期待できる。千鳥台5丁目については商業施設ゾーン工事の後、販売の予定。固定資産税の数字は守秘義務の関係で言えない。

情報は広報で連載した

町長 金沢との合併は魅力度調査においても、デメリットが非常に大きい。資料については今年1月、2月、3月の広報で合併問題につ



遅れている大京開発（千鳥台5丁目）

合併の是非の議論をせよ

清水 合併議論は未来に禍根を残さないためにも、河内郡内、金沢市など様々な合併シミュレーションを作成し、また公共料金等サー

清水 町独自の雇用、失業者対策はどのように考えているか。

助役 道路除草などの業務を行っている。また職業訓練校への奨励金制度もある。

清水 他の自治体が許可しているディスプレイシステムをなぜ許可しないか。

下水道課長 平成15年度に社会実験が終了し最終報告ができたとき接続の可否を判断する。

関連質問

（清水議員の大京問題）
堂下清孝議員 固定資産税は守秘義務から答えられないというが、以前、別件で聞いたことがある。
総務部長 地方税法に秘密漏えいの条文があり、税情報は言えない。以前のことは記憶がない。



効果があれば増やせ

高本武雄議員



早く4車線の実現が望まれる

高本武雄議員 西荒屋の海浜の砂丘の侵食防止の護岸堤防工事の予算は幾らか。

効果がよければ増やすつもりはあるか。

国の財政も厳しい

町長 県としては、2カ年計画で西荒屋地区と大崎地区に、幅6メートル、海面から2メートルの高さで約50メートルの突堤を出して、北側に浜砂を入れて再生しようと思った。事業費は県の方の予定な

ので、3億円ぐらいでないかと聞いている。国の財政が厳しいので実行されるかどうかかわからないが期待している。効果はあると思うが、増やすのは難しい。

海浜4車線化を実現せよ

高本 海浜道路4車線道路はいつできるのか。現在のその進捗状況はどうなっているのか。青写真ができて

いるのか。この問題は内灘町の今後の発展のための力ナメであるので、ぜひ実現せよ。

要望活動で開通に努力

町長 国の5カ年道路計画にも上げていく努力をしている。これも県と国の話なので、町が後押しをして一生懸命にやっっていくと考

えている。要望活動を通して一日も早い開通に向けて努力を払っていく。

高本 蓮湖渚公園は、何%できたか。残りはいつごろ仕上がる予定か。助役 平成17年度の完成が目標。11月末現在で、計画の約60%が終わった。

高本 予定どおり住宅販売ができるのかどうか。助役 全国的に不動産取引が低迷しているが、明るい材料もあり、期待している。

高本 白帆台の住宅は、この2年間で何軒建て、何軒売れたのか。助役 モデル住宅59棟のうち35棟が売却済み。宅地は97のうちの19に申し込み。

高本 何か1本柱となるような目標は。町長 子供たちに内灘市を目指してほしい。我々はそれに向かって努力をする。

高値落札の 事前公表には反対

水口裕子議員



水口裕子議員 昨年の6月議会で入札予定価格の事後公表を求め、500万円以上の工事については事前公表し

てみようということになり、その結果、38件の平均落札率は97・4%。

もともと私は事前公表には反対だった。全国を見てみれば、あちこちで事前公表は高値落札が急増とか、高どまりが懸念とかされている。

問題が起こる前に電子入札制度を検討してはどうか。

電子入札を検討する

町長 近い将来電子入札を便入札という方法もある。

どう取り入れるか検討中。

小さい業者の場合も検討したい。

水口 小さい業者には、郵

助役 検討するうちのひとつである。

テニスコートにスロープ

水口 総合公園にはバリアフリーの立派なトイレがあるが、肝心のテニスコートには車いすを誰かに担いで

もらわないと入れない。本末転倒では。車いすでも気軽に利用できるようにスロープを付けて。

また、健常者と障害者が

いっしょに走るアカシアジョギングの会場を総合公園に移し、バリアフリーのエコ公園にしてほしい。



スポーツにもバリアフリー

バリアフリー化を検討

町長 テニスコートのバリアフリー化は近い段階で検討したい。

生涯学習課長 アカシアジョギングコースの変更は、主催者に申し入れ検討する。

水口 役場へ寄せられる意見に返事を差し上げよ。

水口 町民からの意見への対応はどうしているか。

助役 回答できるものには答えよう努めている。

助役 できるものにはすぐ対応。予算のいるものは調査研究し、事業計画に反映。

水口 来年発行予定の住基カードは差別の原因になるおそれがある。

助役 カードはまだ検討中で、これからの問題。

水口 住基ネットへの接続を、福島県矢祭町のように停止することを考えよ。

助役 国を信用している。プライバシーを守る法律の先行きを見届ける。

水口 雪害対策について確認したい。

産業建設部長 除雪計画を策定し、除雪会議も開催業者とも打ち合わせ済み。

重原議員35年表彰

去る10月15日東京都内において、重原義之議員が総務大臣から感謝状を受けられました。昭和42年の初当選以来、9期連続の間、議長、副議長をはじめ、各常任委員長を務められ本町の発展に大きく寄与されました。



政府にももの申す

WTO農業交渉等に関する意見書

わが国は、「多様な農業の共存」を基本に、「市場アクセス」分野や「国内支持」の分野において、農業の多面的機能を含む貿易以外の関心事項の配慮を強く求める。

あなたの請願を採択

介護予防事業の促進とNPO法人への事業委託実施

高齢者が自立した生活を確保するために、介護予防事業をより促進し、NPO法人・地域住民組織にも事業委託を拡大するよう要望。

編集後記

新年あけましておめでとございます。

2千3年元旦の朝は、久しぶりの好天に恵まれ穏やかな新年を医王の山並みから上る朝日を拝みながら、今年も平和な1年でありますようにとの思いを込めました。

12月議会は「議員定数条例」、「政務調査費条例」など、議員自らに関係する重大な議案で、賛成・反対の討論が続出する中で採決された、その内容を大きく取り上げた紙面となりました。

暖冬ではと言われた今冬も、この議会日より皆様のお手元に届く頃には、寒波、積雪はどうなっているやら…。

13年1月豪雪のような事にならないか。豪雪対策は急がないように願いたいものです。

今年もご愛読の程よろしくお願致します。

(W)

「これは別問題」

広井てつお

